

平成 30 年度事業計画書

特定非営利活動法人 淡河神影工房

1. 基本方針

平成 30 年度は、地域での活動を本格的にスタートさせます。

文化庁文化遺産総合活用推進事業（神戸市実行委員会）を活用して、地域に位置する文化財を中心とした「里づくり」に取り組んでまいります。

工房が位置する神戸市北区淡河町神影は、石峯寺の門前として発展し、今は緑豊かな農村風景が広がっています。重要文化財である石峯寺の薬師堂、三重塔の他、周辺は神戸市により文化環境保全地区にも指定されています。大都市近郊農村でもあることから、生活環境が変化し、伝統的な生活は少なくなっています。だからこそ、文化財を中心とした農村環境の保全を広く情報発信し、地域の人々や近郊の市民に伝えていくことで地域活性の一助としていきたいと考えております。

目標としては、情報発信事業パンフレット（ガイドブック）を作成しますが、意見交換会・検討会（ワークショップ）により、地域や関心のある方の参加型で普及啓発事業ともしてまいります。

以下に定款でかかげる事業分類ごとに示します。

（1）耕作放棄農地や里山の再生を図り維持し、農作業を学び、農村環境を守る事業

耕作放棄農地の復元については、29 年度に引き続いて、果樹の育成を進める他、近隣農家との多様な作物づくりの連携や支援を進めてまいります。また、地域での草刈りなど農村環境維持に必要な業務に取り組んでまいります。

（2）農村での生活拠点となる農家の再生を図り維持及びこれを体験する事業

工房の本拠地となります。民家の改修保全につきましては、倉庫の補修工事を完成させると共に、工房の活動に必要な内装空間、さらに、蔵や物置、庭や外構などについても充実を図ってまいります。

このような工事の実施に際しては、前年度同様、体験的行事とすることで、関心のある方に広く呼びかけ、会員の増加などにもつなげていきたいと考えております。

（3）食育に関する事業

食育に関しては、連携する事業者の生産品を中心に食育体験に関するワークショップを実施します。

（4）農村の伝統的生活文化にふれ、及びアート制作やギャラリーに関する事業

農村の伝統的生活や文化やアートに関する事業につきましては、前述の文化遺産総合活用推進事業に合わせて、宗教と農山村活動に詳しい専門家を招いたワークショップなどを交えて実施いたします。

これに加えて、特に地域交流に力をいれていく観点から、29 年度に試行実施しました石峯寺モミジのライトアップを本格的に実施する他、魅力を広く伝えていくために、清掃活動などお寺の行事などにも参加しながら、紅葉の名所の魅力向上の支援などに取り組んでまいります。

このような機会を通じて、活動拠点となる民家を地域の方々が集える場として活用出来るようにしてまいります。

その他、地域で実施する夏の夜市への参加、北神戸田園ボランティアネットと共に実施する子供たち向けの「星空観察会」、染物の体験会など活動を徐々に本格化させることで、会員外、一般にも幅広く参加できる仕組みをつくっていきます。

（その他）

近隣の目的を共有できる団体と共に行う里山活動や地域の竹林対策など、工房として支援できる業務を増やしていきたいと考えています。

2. 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	プロジェクト内容	実施月 実施回数	実施場所	従事者	収益 見込
(1) 耕作放棄農地や里山の再生を図り、農作業を学び、農村環境を守る事業	草刈りや畔の補修などの維持管理	通年 月1回程度	淡河町神影 他	会員10名 非会員5名	0円
	果樹の育成	4月～3月		会員6名	0円
	淡河での畑整備の支援	4月～7月		会員3名	0円
	地域での草刈活動などへの参加	年数回		会員10名	0円
	近隣での里山（竹林含む）保全活動支援を行う。	4～3月			100,000円
(2) 農村での生活拠点となる農家の再生を図り維持及びこれを体験する事業	農家の復元（基盤）計画事業の実施に必要な内装空間の充実	4月～8月	淡河町神影		
	蔵・物置・ロフトの整理（周辺含む）	4月～10月			0円
	農家の復元体験として壁の左官仕事を行う。	5月		会員10名 非会員10名	20,000円
	外構の整備（植木、井戸、池、駐車場）	通年 年4回程度			
	石窯づくり	4-5月		会員5名 非会員5名	10,000円
(3) 食育に関する事業	食育体験に関するワークショップ	通年 年4回程度	淡河町神影	会員5名 非会員20名 (子供含む)	140,000円
(4) 農村の伝統的生活文化にふれ、及びアート制作やギャラリーに関する事業	文化庁事業による地域パンフレットづくり A5 32ページ 5000部 ・勉強会（ワークショップ） ・講演会等を含む		淡河町神影	会員外一般参加30名	897,150円 (助成金他)
	・石峯寺の魅力を伝えていく事業（ライトアップ、里山の手入れ）			会員以外一般参加	200,000円 (助成金)
	・石峯寺での行事を支援する（月定例、護摩法要など）			会員以外一般参加	50,000円
	文化環境保全に関する事業 (十輪院カフェなど)			会員以外一般参加20名	224,000円 (助成金他)

	地域事業への参加 ・淡河スポーツ大会 ・夏の夜市 ・もりもりおもちゃ箱フェスタへの参加			会員（スタッフ） 8名	
	・星空観察会	8月 12月		子供30名	36,000円 (参加費)
	山の材料を活用した染物ワークショップ			一般10名	80,000

3. 事業実施体制

(1) 会議に関する事項

①通常総会 1回（5月）

29年度決算を行う。

②理事会 4回（5月【決算、総会】、8月、12月、3月【予算】）

(2) 事務局体制

事務局長：松岡 達郎

会計：白澤 雅英

- ・活動の実務の打合せを行うため、運営会議月1回を実施する。
- ・認定NPOに関する調査を行う。

(3) 広報活動

① facebookによる広報の充実

- ・管理者による積極的な広報の実施

② 法人の基礎データなどの公開：ホームページの改善

（情報発信力の強化、日常活動はFBでも公開する）

(4) 寄付金について

- ・寄付者数の目標 50人

(6) 他団体主催行事への参加

- ・地域交流に関すること、スキルアップにつながるセミナーや研修会に参加する。